

発表2

主体的に学ぶ児童の育成をサポートする 図書館運営

発表者 山崎 尚美 (群馬県佐波郡玉村町立芝根小)

指導者 望月 陵 (山梨大学特任教授)

記録者 神庭 美和 (群馬県太田市立鳥之郷小)

I 発表要旨

1 主題設定理由

本校の児童は、素直で真面目に学習に取り組むが、やや受け身であると感じたり、学習に対する不安や意欲の低下が登校しぶり等につながっていたりすることもある。また、本校では、非認知能力「自分と向き合う力」「自分を高める力」「他者とつながる力」の育成というテーマで研修しており、学校全体がさまざまな指導の中で図書を効果的に活用することは、学力向上とともに非認知能力を育成するうえでも有効であると考え、本主題を設定した。

2 実践の概要

図書館運営上の工夫点

- ・ 関心をもって学習や読書に取りかかれる工夫
- ・ 目的意識をもった選書や読書の工夫
- ・ 児童が読書に親しむための工夫
- ・ 他者と関わり表現する場を増やす工夫

(1) 学習に関わる環境整備

① 気軽に手にとれる環境づくり

図書室が狭いため、学習に必要な図書を各教室や特別教室に配置する学校全体を図書室にする取り組み。学級文庫以外に、2週間に1回程度の読み聞かせ本を教室に配架。授業使用図書の記録を残し、図書館利用計画を作成。児童が自分で探せる配架場所や表示の整理。図書室前のホールを図書配架場所に。図書についてカラフルで楽しめる新聞記事で学習。

② 学級担任との連携

図書を利用した授業で有効だった指導方法等を記録、閲覧できるようにまとめる。

(2) 読書に親しめる環境づくり

① 図書委員会によるおすすめ掲示板

② 教員の得意を生かした図書紹介

図書を紹介する絵、メッセージ。

③ おすすめ本リストの作成

Google シートにリンクを貼り、図書室 Classroom で閲覧できるようにした。低学年はタブレットではなく、ファイルで閲覧できるようにした。

(3) 他者との関わりを増やすために

① 特別支援学級と連携した季節の飾り作り

四季やさまざまなイベントに合わせて図書室に飾るオーナメントの作成。

② 保健室と連携した粘土作品提示

不登校傾向児童が図書室の空いている時間に利用できるようにしたり、図書を一緒に選んだりサポートする。図書室に粘土細工の作品提示。

③ 縦割りによる読み聞かせ

(4) 外部との連携

① 県立図書館との連携

(5・6年対象のビブリオバトル・団体貸し出し等)

② 町立図書館との連携

(学習で使用する図書の補充・町探検等)

II 指導・助言

『主体的な学びへ』『学習環境を整える』『学びを立ち上げる学校図書館』であった。学校図書館の規模、学校司書等、環境があまり整っていない所で何ができるか、よく考え工夫されていた。

学校図書館と教育課程との関連、子どもたちの学習との関連を改めて精査し、実践し、記録し、積み重ねていた。

学校図書館に多様なしかけがあり、読みたいと思わせる環境づくりをたくさんされていた。子どもたちがすぐに図書を手にとれるような工夫があった。個に応じた指導ということで、一人ひとりを大切にしており、さまざまな立場の児童が図書館を通し、楽しんで学習できる実践をしていた。子どもたちの読書する力には個人差があり、本を読む、選ぶというのはとても大変な作業である。その子に合った図書をどう提供できるかということは難しいが、よく考え、取り組んでいた。

III まとめ

担任や授業担当教員との連携ができるだけ負担にならずにとれるように意識することや、図書主任が授業に「図書の専門家」として参加することで、学習意欲の高まりや課題に主体的に取り組む児童の増加につながった。図書館担当者だけでなく、校内教員の得意なことを取り入れながら学校全体で取り組むことで、児童の読書に対する関心が高まった。

短時間でわかりやすい情報共有や打ち合わせの方法、具体的な支援方法等を考えていく必要がある。また、これらの実践を長く継続していける柔軟な環境づくりや言葉かけが必要である。